

国指定史跡 月山富田城跡



【月山富田城史】

富田城は、中世、出雲国を統一し、戦国大名となった尼子氏が、出雲支配の拠点とした城である。尼子氏が城を退去した後は、吉川氏等毛利氏一族が支配した。関ヶ原の戦いで毛利氏が敗れた後は、吉川氏に替わって堀尾氏が出雲国に移封されて富田城に入った。慶長13年(1608)に堀尾氏が出雲支配の中心地を松江に移し、元和元年(1615)に一國一城令により富田城はその役割を終えることとなった。現在残る富田城跡の遺構は、尼子氏が骨格を築き、毛利・吉川氏、堀尾氏によって改修されたものである。

月山山頂部の曲輪群を詰の城とし、山頂から西北方向に長く伸びる尾根上に南から本丸・三ノ丸・三ノ丸・西袖ヶ平といった曲輪を連続して築いている。

月山中腹部から西北方向に馬蹄状に伸びる丘陵部があり、尾根部を大きく削平した曲輪群をはじめとして、腰曲輪や削平段、土塁、堀切、石垣等の多くの城郭遺構がみられる。山頂部と西北丘陵を繋ぐ基部にあるのが山中御殿である。

富田城の登城道の主要ルートは、北方からの菅谷口、飯梨川(城下)方面からの御子守口、南方からの塩谷口が知られている。これら3ルートは全て山中御殿に繋がっている。さらに、山中御殿から山頂部の曲輪群は七曲りと呼ばれるつづら折れの道で結ばれており、縄張りの上から、富田城の中核的な曲輪は山中御殿といえる。

山中御殿から分岐する支丘陵には、山中御殿から順に、花ノ壇、奥書院、太鼓壇、千畳平などと呼ばれる大きな曲輪群が連なっている。

【観光案内】
 ・安来市観光協会 TEL: 0854-23-7667
 ・安来市立歴史資料館 休館日: 火曜日 TEL: 0854-32-2767
 ・広瀬餅センター 休館日: 水曜日 TEL: 0854-32-2575

- 城郭エリア
- 登山道
- 車道
- P 駐車場
- WC トイレ



月山富田城関連年表

年号	西暦	富田城路年表	城主
明徳2	1391	出雲国守護山名満幸の代官塩治般河守、富田城を守護する。「明徳記」	塩治般河守
明徳3	1392	明徳の乱の後、京極高経、出雲国守護となる	
応仁元	1467	応仁の乱、出雲国守護京極持清は東軍に属する守護代尼子清貞、出雲国内で西軍諸勢力と戦う	尼子清貞
応仁2	1468	持清、清貞を能義郡奉行、美保園代官職等に任ずる	
文明16	1484	尼子経久、室町幕府から追討命令を受ける	
永正5	1508	京極政経、吉童子丸に守護職を譲る。この頃から経久、事実上の守護権を継承する	
永正11	1513	経久、三沢為忠が籠もる藤ヶ瀬城を攻撃する	尼子経久
大永3	1523	安芸国西条鎗山城を攻める(本格的な外征を開始)	
大永3~5	1523~1525	尼子氏が伯耆西部、石見東部に進出	
享祿3	1530	経久の三男塩治興久が反乱を起こす	
天文6~8	1537~1539	尼子経久(晴久)、藩邸へ逐征	
天文9~10	1540~1541	晴久、安芸郡山城の毛利氏を攻めるも大敗	
天文11~12	1542~1543	大内義隆、出雲へ侵入し富田城を攻めるも大敗。【第1次月山富田城の戦い】	尼子晴久
天文21	1552	晴久、足利幕府より中国八箇国守護に補任される	
天文23	1554	晴久、尼子国久以下の新宮党を討滅する	
永祿5	1562	毛利元就、出雲へ侵攻する	
永祿7~9	1564~1566	元就、富田城を包囲する【第2次月山富田城の戦い】	
永祿8	1565	山中鹿介、毛利方武将品川大膳を一騎討ちで破る【川中島の戦い】「陰徳記」「雲陽軍実記」	尼子義久
永祿9	1566	尼子義久、富田城を開城。義久は安芸に送られる	
永祿12	1569	山中鹿介、尼子勝久を率じて、出雲へ侵攻。尼子再興軍、富田城を攻撃「陰徳記」「雲陽軍実記」	天野隆重
元龜2	1571	鹿介ら尼子再興軍、毛利軍と布部等と戦い大敗。尼子再興軍、出雲から撤退	
天正6	1578	上月城落城。勝久自害。山中鹿介は備中松山に連行され、備中阿井の渡で暗殺される「山縣長茂覚書」	富田(毛利)元就
天正9	1581	秀吉の鳥取城攻めに對し、毛利輝元が富田城に在陣	
天正13	1585	輝元より、末次元康が富田城の在番を命じられる	末次(毛利)元康
天正19	1591	吉川広家、秀吉の命により出雲二郡、伯耆三郡、隠岐等を与えられ富田城に入城	
文祿元	1592	秀吉、朝鮮出兵(文祿の役)広家も従軍し朝鮮へ渡る	
慶長2	1597	慶長の役において、広家は蔚山城攻防戦で活躍	吉川広家
慶長5	1600	7月広家、会津上杉氏討伐に、富田城より出陣する。9月広家、関ヶ原の戦いにおいて、東軍勝利に貢献。11月堀尾吉晴・忠氏親子浜松城より富田城に入城	堀尾忠氏
慶長9	1604	堀尾忠氏、没する	
慶長12	1607	松江城の築城にとりかかる	堀尾三之介(忠晴)
慶長13	1608	本拠を松江城に移す	
慶長16	1611	松江城、完成。堀尾吉晴、没する	
元和元	1615	一國一城令が公布。この頃、富田城は廢城か	